「ボランティア養成講座」を開催いたします！

なかはらボランティアセンター主催

車いすボランティア養成講座

日　時	10月4日（火）10：00～12：00
会　場	神奈川県立中原養護学校
定　員	10名（先着順）
参加費	無料

対　象	中原区を中心として地域福祉活動に興味のある方
申込方法	来所・FAXにて、専用の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記までお申込みください。電話での申込も可能です。
申込期間	平成28年8月25日（木）9時から受付開始（定員になり次第、受付締切）

※詳しい講座の内容と申込書は、8月中旬より中原区社協・区内関係機関の窓口もしくは、中原区社協ホームページ（http://www.kawasaki-shakyo.jp/nakahara/index.cgi）からダウンロードできます。

問合せ申込み　〒211-0067　川崎市中原区今井上町1-34 和田ビル1階
TEL 044-722-5581・5500　FAX 044-711-1260
中原区社会福祉協議会　地域課（なかはらボランティアセンター）

平成28年度 全国社会福祉協議会ボランティア活動保険の加入申し込みについて

加入申込者	社協の構成員・会員ならびに社協に登録されているボランティア個人・グループ ※中原区社協においては、保険加入申込をもってボランティア登録とみなします。
対象となるボランティア活動	日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」
補償期間	年度ごと。（原則：加入受付の翌日～平成29年3月31日） ※現在、熊本への被災地支援を目的とした天災プラン加入の場合、特例で加入受付当日から補償開始となります。
保険料タイプ（1人につき）	A　300円　天災A　430円 B　450円　天災B　650円　※天災タイプは地震・噴火・津波に起因する被保険者自身のみ補償

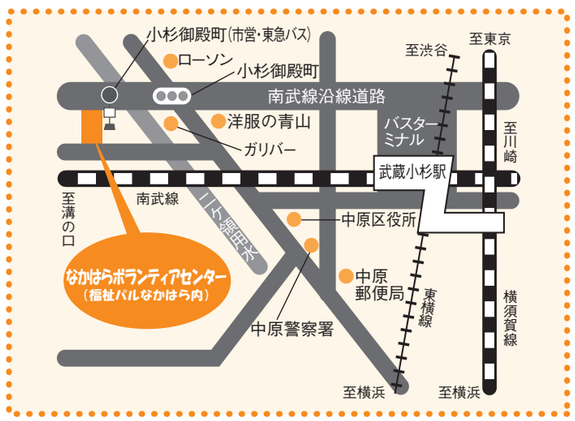
※加入については、お1人につきいずれか1口となります。複数口加入をされても補償は1口のみ。
※加入申込についてはご案内をよくお読みいただきご加入ください。

中原区社協においての加入申込方法

①中原区社協窓口にて加入申込用紙と保険料振込用紙をもらう。
②申込用紙を記入。（用紙1枚目に代表者もしくは加入者の捺印が必要です）
③所定の振込用紙にて保険料を振込み。（事務手続き上、なるべく郵便局の窓口で振込みを行って下さい。郵便局の場合は手数料がかかりません。）
④振込みを終えたら、中原区社協窓口に、「振込払込受付証明書」と記入済みの「加入申込書」を提出。
原則は、保険料の振込みをしていただいてから、区社協窓口にて保険加入の受付をいたします。

中原区社協での保険加入の問合せ　地域課　TEL 044-722-5500まで

全社協ボランティア保険の補償内容など詳しい内容については
http://www.fukushihoken.co.jp/　検索



【公共交通機関】
ＪＲ南武線・横須賀線・東急東横線　武蔵小杉駅より徒歩10分
※ 駐車場がありませんので車での来所はご遠慮ください。

なかはらボランティアセンター相談窓口

ベテランのボランティア経験者が相談員となり、ボランティアセンター相談窓口を設置しています。ボランティア活動希望・ボランティア派遣依頼等、ボランティアに興味のある方、気軽にご連絡ください。

開設日　毎週火・木曜日　第2・4土曜日　午後1時30分より午後4時まで
電　話　044-722-5581

編集後記

熊本地震からはや3ヶ月。被災地ではまだまだ復旧が進まない場所も多いようです。夏休みを利用して災害ボランティアに行こうと考えている人もいると思いますが、今回の特集記事を参考にして、無理の無い活動をしてくださいね。　（ハマー）

次号は平成28年10月発行です

ボランティア情報紙『ポポラーレ』
NAKAHARA Popolare Vol.40
2016年7月

Popolareとは、イタリア語の「市民」や「民間」を意味する言葉で、「私たち（市民）の手で作っていきたい、身近なボランティア情報を届けたい」という想いが込められています。

社会福祉法人
川崎市中原区社会福祉協議会
なかはらボランティアセンター
〒211-0067 川崎市中原区今井上町1-34
TEL 722-5581／FAX 711-1260
URL http://www.kawasaki-shakyo.jp/nakahara/

災害時のボランティア

この度の熊本県を中心に発生している一連の地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

災害ボランティアに行くみなさんへ

●被災地に行く前に的確な情報を入手しましょう！

それぞれの被災地によって必要なボランティアは異なります。状況によって一日当たりの受入人数を制限したり、ボランティア募集を現地の人に限定している場合がありますので、前もって被災地ボランティアセンターのホームページ等で状況を確認しましょう。

●必要な準備をしましょう！

被災地のボランティアセンターでは食事・宿泊場所は用意されませんので、自分で確保が必要です。現地やその付近で被災のなかったホテルや民宿への宿泊、車中泊など、各自で確保しましょう。

服装についても、長そで、長ズボン、ヘルメット、ゴーグル、坊じんマスク、軍手、長靴など、必要なものは事前に被災地ボランティアセンターのホームページ等で確認しましょう。

また、必ずボランティア保険に加入してください。地震・噴火・津波に対応している天災タイプに入る事をおすすめします。

※ボランティア保険について詳しくは4ページをご覧ください。

被災地に行かなくてもこんな支援ができます！

●被災地の食品や名物等を購入する

インターネットや物産店などで被災地の名産を購入したり食べたりすることも被災地への支援につながります。また、ＬＩＮＥのスタンプ購入により被災地に募金されるものなど、学生でも協力できる色々な支援の方法があるので、自分ができる範囲の支援を探してみましょう！

●被災地支援の募金に協力する

色々な団体で募金が行われています。現在、神奈川県共同募金会川崎市中原区支会（中原区社協内）でも熊本地震義援金を募集しています。詳しくは中原区社協（TEL 044－722－5500）までお問い合わせください。

No39 ボラ嬢エースを狙え!

原案：ポポラーレ編集委員
イラスト：モモリアキヨ

なかはらボランティアセンター担当の小林が突撃！“ボランティア”してるあの人に聞いてみました!!

この企画は、中原区でボランティア活動をしている人にインタビューをして、これからボランティアを始めたいと思っている人へのきっかけ作り、現在ボランティア活動をしている人へ活動を続ける原動力となって欲しいという願いを込めた企画です。今回は、運転ボランティアを中心に幅広いボランティア活動をされている喜古由郎（きこよしろう）さんにお話をうかがいます！

移送ボランティアなかはら21の代表である喜古さん。私は移送サービス担当として、いつも大変お世話になっておりますが、改めて自己紹介をお願いします。

生まれは福島県で、15歳で就職したものの高校を出ないといけないと思い、夜間学校に通っていました。高校卒業後に都内のトタン板の問屋に就職。その2年後に元住吉で先輩が住宅関係の店をやっているということで声をかけられ転職し、以後21歳から61歳まで40年間勤めました。退職後はボランティア活動をしようと発起し、現在まで10年間ほど運転ボランティア活動を中心に活動しています。

仕事を退職した後、すぐにボランティア活動を始められたんですね。ボランティア活動を始めようと思ったきっかけはありますか？

自分自身の生活は何とかなるだろうと思っていたし、ボランティアをやりたいというのは仕事をしている時からずっと思っていました。福島から出てきて右も左も分からない中で、公民館に行って仲間作りの活動をしていたのもボランティアに興味を持ったきっかけかな。仕事を辞めた当時、ちょうど中原区社協で運転ボランティアを募集していて、これなら運転免許証を持っている自分に出来ることだと思って、中原区社協に行って話を聞いたのがボランティア活動を始めた最初の第一歩でした。

仲間作りの活動がボランティア活動を始めようと思った原点だったんですね。現在喜古さんが関わっているボランティア活動を教えてください。

区社協（移送ボランティアなかはら21）での運転ボランティア活動、障害作業所でお弁当を届ける運転ボランティア、朗読の会の運営手伝い、食生活改善推進員、あとは町会におけるボランティア活動や個人的に近所の方に対して行っているボランティアかな。あとは、ボランティア活動ではないけど、平日は毎日デイサービスの送迎もやっています。現在関わっている活動の多くは、区社協や市民館、区役所などに通っている時に関わりがあった人から紹介されたものが多いです。

人との関わりの中で活動の幅が広がったんですね。これまでのボランティア活動で印象に残っていることや思い出に残っていることはありますか？

運転ボランティアにおいては、私が職業柄地理に詳しかったのが本当に役に立ちました。例えば、運転ボランティア活動中に行き先までの途中であえて景色が良いところを通ってみたり。自分が楽しませようと思った事で利用者さんが喜んでくれたことや、楽しかったことなど、思い出は挙げればきりがないね。利用者さんから勉強させてもらうことが多いし、自分が健康であることが、どんなにありがたいことか実感することもありました。大変だと思ったり、苦しいと思った事は一度も無いです。ボランティアは楽しんでやらなきゃね！

喜古さんのように長く活動するには“楽しんで活動すること”が1つの秘訣だと感じました。ちなみに、これからやってみたいボランティア活動はありますか？

自宅にあるスペースを開放し、1人暮らししている近所の高齢者に集まってもらい食事やお茶やおしゃべりが出来るような居場所づくりの活動をしたいと考えています。配食ボランティアをやっている団体に協力してもらいお弁当を用意する等、現在関わりのある他のボランティア団体と協働も出来たらと思っています。

それでは最後に、これからボランティアを始めようとしている人に向けてメッセージをお願いします！

自分から飛び込んでほしいね。まず一歩を踏み出して欲しい。一歩を踏み出せば人から喜ばれることがたくさんあるし、楽しいことも見えてくると思います。

今後もボランティア活動をしている人にどんどんインタビューしていきますので、お楽しみに！

この機関紙は共同募金の配分金などを財源に発行しています。

ボラ情ひろば

＊ボランティア募集＊

オアシス井田

内　容　主に精神障害者の方が利用している地域活動支援センターでの各種プログラムお手伝い（内容は様々）
時　間　月～金曜日　10時～11時30分
　　14時～15時30分
場　所　オアシス井田（井田中ノ町41－7）
条　件　・利用者の方をメインに考え、プログラムをフォローできる方
　　・利用者の方と一緒に楽しめる方
　　・交通費実費分支給
問合せ・申込み　オアシス井田　担当：安田
　　TEL　789－9743

社会福祉法人　川崎ふれあいの会

内　容　精神障害者のグループホームでの食事づくり（買い物を含む）
時　間　月・火曜日（応相談）15時～17時
場　所　グリーンふれあい（上平間1340－12）
条　件　交通費は一律500円支給あり
問合せ・申込み　グリーンふれあい
　　TEL　549－0356

川崎市中央療育センター

内　容　発達に支援を必要とするお子さんの療育時の兄弟の保育
時　間　月～金曜日　9時30分～14時
場　所　川崎市中央療育センター（井田3-16-1）
条　件　・できれば週1回の固定曜日
　　・交通費は一律500円支給あり
　　・給食支給、ボランティア保険加入
問合せ・申込み　川崎市中央療育センター
　　担当：熊谷
　　TEL　754－4559

作業室こすぎ

内　容　障害者（身体・知的）の方の日中活動施設において利用者と一緒にゲームや散歩の介助（車イス）の手伝い
時　間　月曜～金曜（祝日除く）10:00～15:00
場　所　川崎市中部身体障害者福祉会館
　　作業室こすぎ（小杉御殿町2－114－1）
問合せ　作業室こすぎ　TEL 733－0732

＊参加者募集＊

かながわカウンセリング研究会

内　容　おしゃべり電話・相談室は悩みがある人、グチを言いたい人…どなたでも話せる場です。また、カウンセリングを勉強しながら仲間つくりもできます。

おしゃべり電話（電話相談）　※開室日のみ
活動場所　リエトプラザⅡ
開 室 日　毎週火曜日（午前10時～午後4時）
電話番号　434－5498

相談室（無料）　※開室日のみ
活動場所　リエトプラザⅡ
開 室 日　毎週火曜日（午前10時～午後4時）
問 合 せ　NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント
　　かながわカウンセリング研究会
　　電話番号　854－0693

大人のしゃべり場（カウンセリング勉強会）
活動場所　小杉2丁目会館（武蔵小杉駅高架下中原区役所並び）
開 室 日　　第2・4日曜日　午後1時～3時30分
参加費200円がかかります。
電話番号　854－2932、711－5321

●●●『ボラ情ひろば』に記事を載せてみませんか？●●●

ポポラーレに掲載するボランティア情報を募集します。ボランティアに来て欲しい、ボランティアとして活動したい団体さんはいませんか？　希望する団体さんはご連絡ください！

この機関紙は共同募金の配分金などを財源に発行しています。